

## HMK15 ヴァイサラ湿度校正器



を校正します。多くの校正機関が、一般に認められ信頼できる校正方法として採用しています。2〜3種類の異なる飽和塩溶液を用いるのが一般的です。塩の種類は用途に応じて選択されます。

### 証明書付き塩類

HMK15では塩類に品質検査済みの証明書を付けてお届けします。フィンランド本社の計測標準試験室 (MSL) でバッチ毎にサンプル校正を行い証明書を発行しています。

### 校正用温度計

HMK15では校正中の温度測定用に温度計が付属します。この温度計で変換器の温度測定精度をチェックすることもできます。水銀温度計 (精度 $\pm 0.3^{\circ}\text{C}$ ) 又は赤液温度計 (精度 $\pm 1.0^{\circ}\text{C}$ ) を用意しています。

### FINASの認定を取得している計測標準試験室

フィンランド本社の計測標準試験室は、EA (欧州認定協力機構) のメンバーであるFINASで認定された校正室です。



ヴァイサラ湿度校正器HMK15は、校正室内のみならず、測定現場での湿度計チェックに最適です

### 特長

- 湿度プローブと湿度変換器を確実に校正、調整できます
- 飽和塩溶液を用いた校正
- 温度平衡が早い
- 外部電源不要
- 校正室内のみならず、現場校正にも最適
- チャンバーと密閉用フタで運搬に便利
- 証明書付き塩類パッケージ
- ヴァイサラ サービスセンターが湿度、温度、気圧の認定校正サービスを提供

どのような計測機器でも、機器のみで高い測定精度を保つことは困難です。定期的に基準器と照合して正しい値に調整することが必要とされます。湿度校正器HMK15は、湿度プローブや湿度変換器の校正並びに現場チェックを確実かつ簡単な操作で行うために開発されました。

### 試験室、研究機関等で用いられている校正方法

HMK15の湿度発生原理は、“飽和塩法”と呼ばれるものです。これは、飽和塩溶液はその上層空間に塩特有の相対湿度を発生させる事実に基づいています。この値に基づき湿度プローブと湿度変換器の指示値

# 技術情報

## 一般仕様

標準タイプHMK15の構成は以下の通りです。

校正用ボトル容器2つ、容器フタ、運搬時密閉用フタ

ベースプレート

温度計(選択)

水銀温度計(ヴァイサラ校正済み) 19728HM

赤液温度計(製造メーカー校正済み) 2513OHM

計量カップ、攪拌スプーン

## オプション

証明書付き、調整済み塩類	注文コード	総合不確かさ*
塩化リチウム 11%RH	19729HM	(±1.3%RH)
塩化マグネシウム 33%RH	19730HM	(±1.2%RH)
塩化ナトリウム 75%RH	19731HM	(±1.5%RH)
硫酸カリウム 97%RH	19732HM	(±2.0%RH)
*+20°Cにおける不確かさ		
イオン交換水	19767HM	
校正用ボトル	19766HM	
キャリーバッグ	HM27032	